

平成22年

# 全日本柔道形競技大会

実施種目 投の形・固の形・極の形・柔の形・講道館護身術・五の形・古式の形

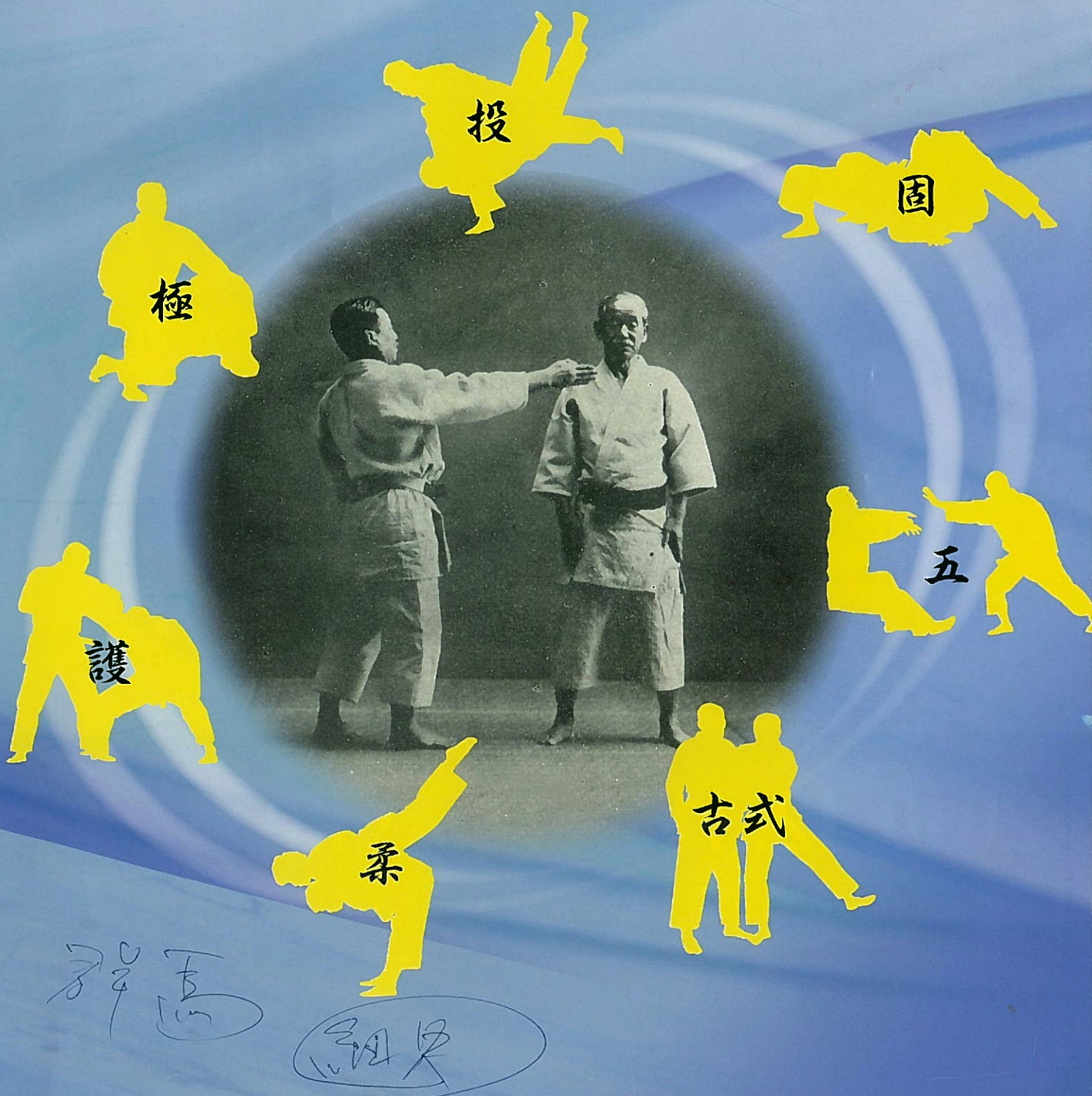
日時：平成22年10月31日（日）午前9時30分開会

会場：講道館 文京区春日1-16-30

主催：財団法人 講道館 <http://www.kodokan.org/>

財団法人 全日本柔道連盟 <http://www.judo.or.jp/>

後援：文部科学省 社団法人 日本柔道整復師会 朝日新聞社



# 五の形

## 北海道

<b>取</b> ドウバ 道場 ヒロキ 大貴 (46) 六段： 北海道警察		<b>受</b> ミタニ 三谷 ヒデアヒト 英仁 (40) 五段： 北海道警察学校	
--	---	--	---

## 東海

<b>取</b> モリ 森 マサヒト 正仁 (50) 五段： 森接骨院		<b>受</b> アイバ 相羽 ヒデアキ 秀昭 (48) 五段： かばいけ接骨院	
--	--	---	---

## 東北

<b>取</b> コバヤシ 小林 コウイチ 孝一 (37) 五段： 山形刑務所		<b>受</b> ハスミ 羽角 ナオキ 直樹 (36) 五段： 山形刑務所	
--	---	--	---

## 近畿

<b>取</b> ヨシダ 吉田 ススム 進 (48) 六段： 京都府警察		<b>受</b> シムラ 西村 シンイチ 信一 (47) 六段： 近畿管区警察学校	
---	--	--	---

## 関東

<b>取</b> ホソカイ 細貝 ショウゴ 昭吾 (50) 六段： 医療法人 石井会石井病院		<b>受</b> フジカワ 藤川 ススム 進 (55) 六段： 藤川接骨院	
--	--	--	--

## 中国

<b>取</b> オカモト 岡本 ヨシオ 芳男 (62) 八段：		<b>受</b> シンタク 新宅 コウフク 公福 (63) 七段： 浜協整形外科病院	
--	---	---	--

## 東京

<b>取</b> モウリ 毛利 オサム 修 (70) 六段： 丸の内柔道倶楽部		<b>受</b> アサダ 浅田 センシュウ 千秋 (60) 六段： 弁護士	
--	---	--	---

## 四国

<b>取</b> センバ 仙波 カズシ 和志 (61) 八段： 愛媛県警察		<b>受</b> ホリオ 堀尾 マサル 勝 (65) 六段： 愛媛県更生保護会	
--	--	--	---

## 北信越

<b>取</b> カスガ 春日 ヒロカカ 啓孝 (52) 六段： 長野県 上田東高等学校		<b>受</b> カツミ 勝見 トウイチ 藤一 (50) 六段： 長野県上田市立 丸子中学校	
--	---	--	---

## 九州

<b>取</b> ミヤザキ 宮崎 ユツカ 豊 (52) 六段： 小城市立牛津中学校		<b>受</b> イケガミ 池上 ミツヨシ 三義 (51) 六段： 佐賀学園高等学校	
--	--	---	---

# 講道館護身術

他から加えられる危害より身を護る為の技術として、柔道の技の中からこれに適応するものが選ばれ、一連の攻防法として組み立てられている。制定は昭和31年1月。

徒手の部と武器の部とを合わせて21本よりなり、実践的な"行き合いを取る"技術を鑑賞されたい。

## 徒手の部

### 1. 組みつかれた場合

- 両手取 (りょうてどり)
- 左襟取 (ひだりえりどり)
- 右襟取 (みぎえりどり)
- 片腕取 (かたうでどり)
- 後襟取 (うしろえりどり)
- 後絞 (うしろじめ)
- 抱取 (かかえどり)

### 2. 離れた場合

- 斜打 (ななめうち)
- 顎突 (あごつき)
- 顔面突 (がめんつき)
- 前蹴 (まえげり)
- 横蹴 (よこげり)

## 武器の部

### 1. 短刀の場合

- 突掛 (つっかけ)
- 直突 (ちよくつき)
- 斜突 (ななめつき)

### 2. 杖(じょう)の場合

- 振上 (ふりあげ)
- 振下 (ふりおろし)
- 双手突 (もろてつき)

### 3. 拳銃の場合

- 正面付 (しょうめんづけ)
- 腰構 (こしがまえ)
- 背面付 (はいめんづけ)



# 五(いつつ)の形

五本あるが完成したものではない。名称も付いていない。最初の二本は起倒流の形と趣を同じくしている。

天地自然の姿、その理を柔道的に表現したものとされている。

## 一本目

小さな力でも合理的に間断なく攻め続けられ、遂には大きな力をも制する理の表現。

## 二本目

強大な攻撃に対し、その力をそのまま利用して制する理の表現。

## 三本目

渦潮の内円が外円を制する理の表現。

## 四本目

大波が岸边に打ち寄せ、何物をも呑み込んで引き返す理の表現。

## 五本目

正面から打ち寄せる大波に直面し、一瞬、身を捨ててこそ浮かぶ瀬もある理の表現。

(宇宙の現象を表現したとの説もある)

